

まるこやま

第73号

令和4年5月22日

〒699-1251
雲南市大東町大東2419-1
大東交流センター
TEL(0854)43-2130



E-mail: daito-c@hotmail.yoitoko.jp
http://user.yoitoko.jp/daito-c/

大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会

時代は
連綿と続く



清田の源溪山長安寺で新住職の就任儀式「晋山式」が営まれました。
式に先立ち、お祝いの稚児行列が行われ、きらびやかな衣装に身を包んだ
11人の子どもたちが、保護者に付き添われ、寺院周辺を練り歩きました。(3ページに関連記事)

就任のご挨拶

大東地区自治振興協議会 会長 水戸 勝春

この度、大東地区自治振興協議会役員の改選に伴い、会長に就任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、今回会長を退任されました小山様には、3期6年に亘り大東地区の地域づくりに精力的に取り組まれ、幾多の成果をあげていただきましたことに対し厚くお礼を申し上げます。

さて、4月より新しい体制で新年度がスタートいたしました。より良い、安心・安全な地域づくりができるよう役員、職員一丸となって取り組んでまいります。

まず、私たちの活動の拠点であります大東地域交流センターについてですが、昨年度まで施設の管理運営をされていまして「NPO法人まちづくり工房うなん」が指定管理を辞退され、大東ねんりんセンターと共にその後を指定管理者として直接管理することとなりました。施設の有効活用に合わせて、利用者の皆様に対するサービス向上と安心して利用で

きる環境を早急に整えたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

また、地域交流センターが昨年より災害時の指定避難所になり

ましたが、厨房施設がないことから、雲南市当局へ設置をお願いしてまいりました。その結果、本年度当初において工事着手に向けた設計準備が整ったようです。今後さらに行政と一緒に、災害時の避難所運営体制を構築していく予定です。

その他、人口減少と少子高齢化が進む中、地域の絆も希薄化しつつあります。地域自主組織活動の三本柱である「地域づくり」「地域福祉」「生涯学習」を中心に、協議会構成団体の具体的な活動を通して活力を取り戻したいと思っております。なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶いたします。



退任のご挨拶

大東地区自治振興協議会 前会長 小山 保雄

令和3年度末を以て大東地区自治振興協議会の会長職を退任する事と致しました。長きに亘り皆様のご協力とご支援を賜り、衷心より感謝とお礼を申し上げます。

振り返りますれば平成13年から振興会の委員として地域活動に参加し、平成14年には大東地区ま

ちおこし協議会（後に現在の地区振興会に合併）を開設しました。「自立と生産」を基本理念とし、「負担と受益」「知恵を出し合い、汗を出し合い、時にはものを出し合い」を合言葉に、20数年間大東地区の「地域づくり、まちづくり」に取り組んで参りました。この度、私も80歳となり、一つの節目として退任の決意をいたしました。今後は相談役として、微力ながらご協力させていただく所存です。

最後に、みなさまのご健勝と大東地区の益々のご発展をお祈り申し上げ、退任のご挨拶いたします。

まず自分から

あいさつ運動大東推進協議会

「おはよう」、「こんにちは」、「お久しぶり」などと声を掛け合い、豊かなコミュニティを築き上げることは、地域の防犯力を高めると言われます。

積極的に声をかけることは、不審者を寄せ付けない力となります。また登下校中の子どもの安全を守るためにも大きな意義があります。子どもたちにとっては、相手を見分ける危機回避能力を学習する機会にもなります。

このたび、新たなポスターを作成しました。標語とイラストは、大東小児童が考えたものです。

大人も子どもも、「まず自分から」という意識をもって、互いに声を掛け合いましょう。



標語・絵 大東小児童作品

ポスターは、たくさんの人の目にとまる場所に掲示していただくと喜びます。



法燈をつなぐ



群雄割拠の戦国時代が始まる頃、曹洞宗寺院としての長安寺が開山し、現在まで法燈が護持されてきました。夜明けとともに澄んだ青空がひろがった先月17日(日)、二十三世住職の晋山式が厳修されました。かわいい稚児や四琉旗などに先導された行列、太鼓の鳴り響く中の上殿、ご本尊だけでなく伽藍や仏法を護る神仏への上香・礼拝など、古式に倣ってすすめられました。

長安寺は平安時代には法相宗寺院として、その後天台宗寺院の時代もありました。大東地区内の他の寺院もそれぞれ長い歴史とともに、様々な出来事が記録されています。

例えば、この度、晋山式にあわせ三百五十回忌の法要を行った江戸時代冒頭の住職は、尼子の時代の戦禍によって焼失した本堂を再建したと寺伝に残されています。



大東図書館だより

「大東町と相撲巡業」



皆さん昭和20年～30年代に大東町、または近隣の市町村に相撲巡業がきたこと、ご記憶にありますでしょうか？

これまで、証拠となる資料が図書館には乏しく、来館されたかたに聞き取りをしながら調査をすすめていました。唯一、図書館で発見したものは、上代清氏編集の『皇国郷土年代表』に「昭和21年6月9日双葉山木次に来る」と記述がありました。当時の新聞を確認したところ、双葉山の引退相撲として行われたようです。土俵は斐伊川河原に作られたと記事にはあります。勧進元は大東のかたお二人となっています。

また、今回この記事掲載にあたって大東交流センターに調査をお願いしたところ、町内から昭和31年10月の大東巡業の板番付や横綱双葉山(後の日本相撲協会時津風理事長)の記念色紙が発見されました。

調査は継続しています。昭和21年、31年の巡業に限らず、近隣の市町村への巡業も含め皆様の情報、ご記憶についてお話しただければ図書館までお願いいたします。



相撲巡業大東場所 板番付表
横綱 双葉山 巡業記念色紙
(相撲巡業地元関係者提供)

「戦争と平和を考える資料展」について

大東図書館では、「戦争と平和を考える資料展」として町内のお二人のかたよりお借りした軍事郵便ハガキ、写真帳、昭和17年の毎日新聞の一部等を展示しています。

戦時下で人々がどのように生活していたのか、その一旦を垣間見ることができる資料です。現在も、世界で戦争が起こっています。当時の資料が

ら平和を考えるきっかけにさせていただきたく展示します。

展示期間：5月7日(土)～6月16日(木)
期間中休館日：毎週金曜日・祝日・月末
開館時間：10:00～18:00
電話：0854-43-6131



パチリ 掲示板

Photo bulletin board



本紙の「にがおえてこんにちは！」や新聞に毎月連載されている「シゲルのにがお」でおなじみの細田滋さん（大東町東町）の作品展（コメントを添えた似顔絵作品43点）が古代鉄歌謡館で開かれています。
入場無料 5月29日まで（火曜休館）



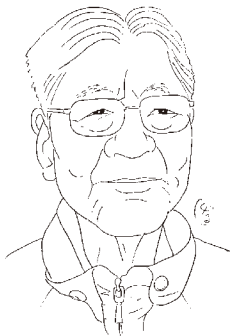
南本町・渡部敦子様より大東地域交流センターにクールベ「セーヌ河畔の女たち」の模写絵（英国ロイヤルアカデミー作家シャン・メドゥス作1620×1303）を寄贈いただきました。
（洋画家三岸節子がフランス留学中に清久鉱山創業者である兄の吉田章義に送ったものです）



にがおえて こんにちは！

文化参道 あの道 この径

高橋 勲



（絵：大東町東町北 細田 滋）

風薫る新緑の季節となりました。

さて私こと本年3月末日を持ちまして古代鉄歌謡館を退任いたしました。在職中には、皆様方の温かいご指導とお力添えにより、無事退職することができました。

心より感謝申し上げます。

離任に際しまして永年私が行ってきました文化行事の一端を皆様に少しでもご理解賜りたく、ご紹介させていただきます。

【実施イベントの一例】

①新作神楽「伊賦夜坂」（筋書きは黄泉平坂に準ずる）

古事記編纂1300年の記念行事として島根県が企画した特別イベントに応募した異色の神楽です。

演者は佐世神楽社中、指導振付けは黒川博堂、企画とプロデュースは古代鉄歌謡館、以上のスタッフで発足し、主催者はもとより、公演各所でも好評でした。

②昭和のうたメモリアルコンサート

抒情歌と昭和歌謡の構成で、シニア世代の青春時代を呼び戻すという企画で発足しましたが、意に違わず毎回会場は超満員でした。

関係出演者：男声4名、女声2名

③文化講座

歴史、民俗、芸能、音楽の識者を招いて実施

招聘講師（記載は一部） 三隅治雄、勝部月子、藤岡大拙、山口信夫、三宅博士、佐々木茂福、宮川明久、吉田 功、田中公道、中村茂子 他（敬称略）

各分野の諸先生方のご高説に聴講者は熱心に拝聴されていました。

以上、簡単な紹介で恐縮ですが、ご紹介とさせていただきます。これからも身近な「古代鉄歌謡館」に足を運んでいただければ幸いです。ありがとうございました。

なつかしの「大東オリエンタル映劇」について

大東の歴史をたずねる会 浜田 富次

「大東オリエンタル映劇」は昭和25年に大東町大東1167番地(南本町)に開設された。この歴史を調べてみると、元々この場所には大東の石川良一氏が経営されていた「竹工場」(戦時中は軍需産業施設)があった。終戦後この工場の建物は「石川文化劇場」と改名され、敗戦復興期の娯楽のない時代の癒しの場として、常時ではなかったが芝居や映画などの興行が行われていた。これを昭和25年に大田出身の勝部昭三氏が買収し「大東オリエンタル映劇」と命名し、初代経営者となって大衆娯楽の館として映画や演劇などの興行が開始された。翌昭和26年に「ルース台風」が来襲し、建物に甚大な被害を受けたため、新たに館を建て替えて営業が続けられた。そして、昭和28年に二代目の経営者として花田辰象氏が就任され営業手腕を発揮された。館内は芝居が可能なステージがあったが、後年は映画中心の経営が行われた。

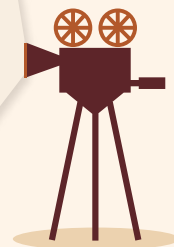
時代は進み日本経済の復興に伴って映画産業も飛躍的に発展し、外国映画も上映されるようになった。そして映画の隆盛期を迎え、時代劇・恋愛や青春映画・アクション映画等々数多くの作品が上映されるようになり、老若男女が映画を楽しみ、夢と希望と生きる活力を養ったものである。昭和28年頃から町内の各学校で移動映画の上映も行われた。私の記憶の中にも小学校で観た「旗本退屈男」や「笛吹童子」などの感動の名場面が今も脳裏に焼き付いている。また、本番映画の始まる直前に短いニュース映画が上映され、子どもながらに日本ではこういうことが起きているんだなと思った記憶がよみがえる。少し後になるが、スポーツニュース映画で力道山の空手チョップに外国の大男がバタバタと倒れるプロレスに拍手喝采し熱狂した思い出も心に残る。国の経済成長に伴って映画産業も白黒映画から総天然色映画(当時はカラー映画と言わなかった)に移行しスクリーンもワイドで大きくなった。当館では昼の部は13:00から夜の部は19:30からの1日に2回上映が行われ、料金は大人60円・小人30円位だったと記憶している。

昭和30年代に入ると各家庭にテレビが普及し始め、白黒からカラーに移行し画面は鮮明で大きくなり迫力も増した。家で寝転びながらテレビで映画鑑賞が可能な時代となり全国各地の映画館は激減した。「大東オリエンタル映劇」も時代の潮流には逆らえず、13年間続いた映画上映も昭和37年8月1日に閉館となった。時代の流れとは言え誠に残念だ。現在70歳代以上の皆様には青春が詰まった今はなきなつかしの映画館であろう。



昭和33年当時の
「大東オリエンタル
映劇」・映画看板が
見える

【写真・資料提供者】
花田 学氏・恩田哲男氏





かどたに かずお
角谷 和男さん (西本町自治会)

若い頃から持ち前の体力と長身を活かし、数々の「栄光の記録」を携えてお出かけ頂いたのは、スポーツ万能で今なお挑戦し続ける角谷和男さんです。八十路中半を迎え人生の思い出を語って頂きました。

Q まず、若いころから陸上をはじめ、ソフトボール、野球、バレーボール、そして柔道までスポーツ全般にわたり幅広く活躍されてきましたが？

そうだね、運動が好きでね。有難いことに身体にも恵まれていたし負けず嫌いも手伝って何にでも挑戦してきた結果が記録として残り、今に至って来たということだね。

ソフトボールもね、最初は自治会でチームを作り練習し、町の大会～郡～県大会へと出場できるまでになった。中国大会に出て接戦で負けた試合は今でも忘れられないね。大東町のソフトボール、野球の隆盛のために頑張った自負はあります。そして現存するソフト、野球クラブが出来るまでになったと思います。

昭和33年にはプロ野球巨人軍の新入団テストも受けたこともある。落ちたけど人生の転機にはなったね。

そうですね。何でも挑戦することが大事でなかなかできないことです。

Q マスターズ陸上でも数々の栄光の記録を残されています。練習はいつ？どこで？

これは50歳から参加していますが身体の続く限り挑戦し続けるつもりです。

練習は丸子山公園とか、ふれあい運動場とか、投てき競技は人がいないところでないと出来ません。「不断の努力が実を結ぶし継続は力なり」を身もって体験しています。

今年も5月に山陰マスターズ陸上選手権大会が米子で開催されます。砲丸投げ、槍投げ、円盤投げに挑戦します。

表彰記録を拝見し驚きます。先ず、中学生の時に体育に奨励した功績で島根県体育連盟会長からの表彰受賞、そして20代になると大東体協代表選手として各種大会に出場、100m、走り幅跳び、砲丸投げは殆ど1位か2位の記録、5種競技にも果敢に挑戦し入賞、全山陰陸上にも何度か出場、ファイルに綴じてある表彰状が多くてビックリです。そしてマスターズでの記録、山陰・中国・全国大会いずれも3位以内に入賞の記録…… すごい!!

Q 自治会での高齢者を対象にボランティア活動も一生懸命のようですが。

うちの自治会でも高齢で一人暮らしの方が多くなりました。私もその一人だけど、男性なもんで頼まれごとも多いよ。移動手段として「アッシー君」もやるし買い物のお手伝い、お茶会、食事会、小旅行にも参加、ペタンクも誘って大会に出たり、時には大工さんの真似事もします。最近温泉のお湯を汲んで足湯に使ってもらったり、世話役専門部長だね。歳をとって身体のあちこちが痛んで来たけど気持ちはいつまでも若くありたいね。

まるで民生児童委員のような振舞いですね。若いころ日活ニューフェイスに応募し県代表になった経験もあり、子どものころは田畑が沢山あり「親父から農作業も教わった。」とも、「息子たちは県外で元気でやっているので心配することはない。これからも近所のお婆さんたちと仲良くしマスターズも頑張り、人生の半分を一人で暮らしてきた経験を活かしたい。」と、そして「アンタはまだまだ若い、こーからだはね、がんばらっしゃい。」と激励して頂きました。ありがたい取材となりました。マスターズ頑張っねー。

(記、西村 武)



ご寄付に感謝致します

- ・大東町(光) 狩野 努様 (香典返し)
- ・大東町(中町) 大坂 順子様 (香典返し)
- ・大東町(西本町) 中島 光恵様 (一般寄付)
- ・大東町(西本町) 木村丕左子様 (香典返し)

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただきます。

大東地区振興あいあい募金運営委員会 (TEL: 43-2130)

■令和4年4月末現在の人口・世帯数 【()内は対前々月比】

項目	雲南市	大東町	大東地区
総人口	36,103人 (-176人)	11,520人 (-60人)	3,426人 (+3人)
男性	17,418人 (-76人)	5,629人 (-22人)	1,659人 (+2人)
女性	18,685人 (-100人)	5,891人 (-38人)	1,767人 (+1人)
世帯数	13,610世帯 (+15世帯)	4,128世帯 (+6世帯)	1,276世帯 (+8世帯)
高齢化率	40.19% (+0.13%)	40.10% (+0.08%)	—

資料：雲南市HPより